

分館長のおすすめ本



『ボビーとそらいろのヨット』

マーガレット・バーディック/さく
わたなべしげお/やく 1995 年

アナグマさんのお店で見かけた素敵なヨット。そこに書かれていたのは「いいものとうこうかんします」という文字。カワウソの男の子ボビーはヨットと交換できるものを探します。

最近、子どもの頃に読んだ絵本をまた読み返す機会がありましたが、その頃は絵本がくたくたになるまで何度も読み返していたなあと、この本を手に取り懐かしい気持ちになりました。子どもの頃の記憶は大人になっても色褪せることはないと感じた一冊です。

休館日のお知らせ

2 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※○の付いている日が休館日です。 ※土日祝日は午後5時までの開館です。

《発行》所沢図書館所沢分館 所沢市元町 27 - 1 ☎04-2923-1243
指定管理者：株式会社ヴィアックス

図書館だより No.115 (通巻)

とこぶん通信

2025

2・3

イベント掲示板

2 月

映画会

こども映画会 11 時～ (10 時 45 分開場)

2/9(日) 『ポパイⅡ vol.1』

2/16(日) 『ファール昆虫記ハチのなかまたち』

市民映画会 14 時～ (13 時 30 分開場)

2/9(日) 『ライラの冒険 黄金の羅針盤』

2/16(日) 『マチネの終わりに』



おはなし会

親子おはなし会

2/1(土) 2/15(土) 2/28(金)

映画会

こども映画会 11 時～ (10 時 45 分開場)

3/16(日) 『トムとジェリー VOL.1』

3/23(日) 『おおきなかぶ』

市民映画会 14 時～ (13 時 30 分開場)

3/16(日) 『オフサイド・ガールズ』

3/23(日) 『遊びの時間は終わらない』

おはなし会

親子おはなし会

3/1(土) 3/15(土) 3/28(金)

※おはなし会はいずれも 10 時 30 分から開始

※映画会は当日先着順です。満員時は入場できません。



イベントレポート

展示イベント「本の福袋」

1月5日(日)～1月10日(金)

新年のイベントとして恒例の本の福袋。今年も1日10袋限定、5日間開催しました。図書館職員が決めたテーマにそって、選んだ本を2冊、袋の中に入れて展示しました。どんな本が入っているかはあけて見るまでわかりません。新たな本との出会いとして実施しました。おまけとしてつけた、職員が手作りの豆本も好評で、準備した50袋100冊はすべて貸出されました。



蔵書点検に伴う分館休館のお知らせ

CHECK

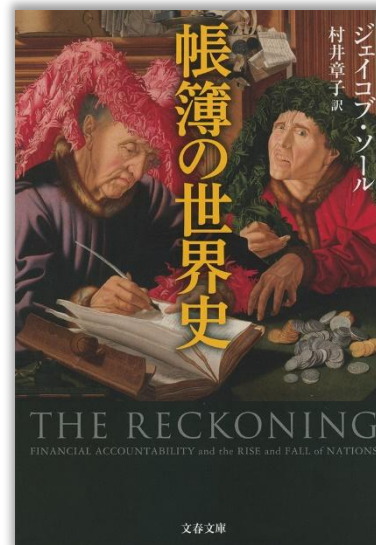
2月17日(月)～2月21日(金)

上記の期間、所沢図書館分館は休館いたします。

(本館は2月18日(火)より開館しています)

「蔵書点検」とは、図書館の本がデータ通りに正しい書架に並んでいるか、不明になっている本はないかなどを確認する作業です。

利用者の皆さんには、ご不便おかけして申し訳ございません。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



『帳簿の世界史』

ジェイコブ・ソール／著
村井章子／訳 文春文庫

『帳簿の世界史』

ジェイコブ・ソール／著 村井章子／訳
文春文庫 2018年

ルカ・パチョーリの『スママ』は複式簿記を紹介した最古の資料とされています。中世イタリアではキリスト教の教義上、富は罪とされていましたが、誠実な取引は神も認める善行として、損益を明確化し、現在でも初版本が現存する貴重な資料です。当時はさほど売れなかったようですが、会計の基本はこの頃から500年変わってないそうです。思想や文化的な背景を紹介するとともに、組織や国家の隆盛や変遷を、会計的側面から読み解く面白い一冊です。

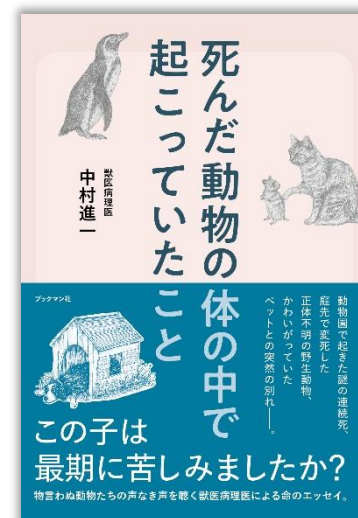
推し本
とこぶんスタッフ選

『死んだ動物の体の中で起こっていたこと』

中村進一／著 ブックマン社

著者は獣医病理学の専門家。遺体となった動物を病理解剖し、その死因や病気の成り立ちを明らかにするのが仕事です。動物園や水族館はもちろん一般家庭のペットも依頼があれば受け付けています。

動物園で起きたリスザルの連続死や庭先の正体不明の変死動物、可愛がっていた愛犬の死因等、話せない動物たちの最後の声を聞き、その死を無駄にさせてはならない、死から学ぶ生の大切さについて、著者が本書の中で繰り返し伝えている言葉に心打たれました。今、生き物を飼っている人、これから飼おうと考えている人達に届けたい一冊です。



『死んだ動物の体の中で起こっていたこと』
中村進一／著 ブックマン社